

## 令和のコメ不足

2024年スーパーの店頭からコメが消えるという騒動が起きました。今なお米の価格は高値でとどまっています。令和のコメ不足は様々の要因に起因しています。まず気候変動による異常気象が影響を及ぼしています。特に台風や大雨が頻発し、稲作の収穫に深刻な打撃を与えることがあります。

さらに、農業従事者の高齢化と後継者不足も米の生産量減少の一因です。若い世代が農業に従事することが少なくなり持続可能な農業が困難になっています。このため、米の供給が減少し価格が上昇しています。加えて世界的な需要の増加も米不足を助長しています。特に海外市場での需要が高まっており、日本国内の消費も増えているため、米の供給が追いつかなくなっています。

輸入米に依存することで需要を満たそうとする動きも見られますが、品質や安全性の懸念がつきまといまいます。これらの問題に対処するため、政府は農業振興策を強化しています。

例えば、スマート農業の導入や効率的な水資源管理などが検討されています。しかし、根本的な解決には時間がかかるため消費者も米を大切に使う意識を持つことが重要です。令和の米不足は単なる供給の問題だけでなく、農業全体の持続可能性や所得、地域経済の活性化にもかかわる複雑な現象と言えます。これらの取り組みが未来の米作りにどのような影響を与えるか注目されています。

鎌野



## 世界の警察

アメリカが世界の警察を辞めるといい、所謂パックスアメリカーナが本格的に終焉した。15年程前には「民主主義と自由市場資本主義は勝利した」と世界では宣言されていたが、その勝者はどこにも見当たらない。

経済のグローバル化によって世界には多くの中流層や教育された人々が増えたが、貧富の差が拡大し、色々な紛争や戦争が増加した。資源の奪い合いや関税戦争、軍拡等、様々な不満が世界に渦巻いており、第二次世界大戦前夜と似た様な状況に世界はなりつつある。

世界大戦が再び起きれば、日本でまず困るのは食料だろう。本来は農耕民族であった日本人のこの国が、食料自給率3年連続で38%だそうだ。かつて江戸時代まで鎖国をしていた日本はその頃、もちろん食料自給率は100%だったはず。とにかく今政府が行うべきは、食料自給率のUPと人口増加策だと思う。

ウクライナとロシアの戦争を見ても分かる通り、人が居なければ、戦争もできない。仕事もできない。未来もないのである。歴史上、人口が減って栄えた国はないと思う。本当は日本がまた鎖国して、農業国になるのが正解だと思うが、それは無理な話でしょうね。

英樹



# 配り

第 311 便

勝亦製材駿河鉄骨㈱

住まい塾御殿場教室

TEL (0550) 87-0048

FAX (0550) 87-1237

〒412-0035 御殿場市中山518番地

人々の見上げる先に枝垂れ桜昭和百年平和を願う  
ねがみともみ



体力は衰えるとも好奇心大阪万博「未来社会」に  
勝亦 りつ子

EXPO 2025



## 不自由

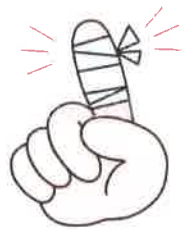
数日前から右手中指の爪の横、薬指側に違和感が。三日ほど前から熱を帯び、それが痛みに変わり、一昨日からは触れるだけで悲鳴が出るほどの激痛。冷やすといくらか楽になるので寝るときには保冷剤を握って寝た。しかし見かけ上は腫れも変色もなく異常がない。心臓よりも低い位置に指があると脈拍に合わせてズキンズキンと痛みが続く。仕方がないので常に腕を上げていた。隣の指が触れても痛いので自然と中指だけを立てている形になっていた。西洋文化圏にいたならばちょっと無事でいられる自信がない。痛みの不快感も相まって常に世界中に喧嘩を売っているようなやさぐれた気分になった。

そして昨日、化膿止めの軟膏を塗り、ガーゼが無いのでラップでくるんでテーピングをしていた。そこかしこに軟膏を塗ってしまうことになるためだ。いい感じにラップでふやけたおかげで成分が効率的に浸透したのか、それとも本来身体が持つ免疫力の経時的なものなのかは判らないが痛みは半減。指の脇は白く膨らみ膿が出てきそうな感じではある。これを出し切ってしまうとおそらく完治だろう。しかし利き手の中指が使えない・触れられないというのは本当に不便です。箸が上手く使えない。キーボードが上手く打てない、力仕事もままならない。

指先ってすごく重要なんですね。身体ほんの数%、いや、0.数%かな、そこに支障が出るだけで生活は、仕事も、ものすごく不自由になるんもんですね。参った参った。

さて、原因として思い当たるのは先週、両面テープの薄い剥離紙でスパッとうっすら、血も出ないくらいにちょこっと切ったこと。おそらくそこから雑菌が爪の生え際に入ったのだろう。怪我のうちに入らない程度の傷からここまでの痛みと不自由が生じるのか。人体って不思議だ。

柳田敏和



## さわやかウォーキング



現在、二十四節気の『穀雨』:七十二候の「霜止出苗」(しもやんでなえいづる)4/25 頃「牡丹華」(ぼたんはなさく)4/30 頃。このさわやかな季節に、「さわやかウォーキング」JR企画物に参加するため、方向音痴の3人のおばさんは、訪れたことのない駅でウォーキングって面白そう！そんなかーいノリで企画駅の「川奈駅」へ向かった。御殿場～沼津～熱海～伊東～川奈。出発時間や料金。乗り換えの時間は3人の中できっちとした性格の1人がロス時間を最小にメモに書き出し。私含め2人は「ありがたやあ×2」。と拝んでそのメモの通りについてゆく。川奈駅に着き受付でウォーキングの道順地図を渡され、「さあてと」。と、地図の通りに行こうと意気込んでいました。『横断歩道を右』と3人は読んだ。3人は歩き出したがその企画の為に頼まれたのだろう警備員さんに「そっちじゃないよ！」。と！「ええ～(笑)最初から～」。「こっちこっち」。と案内ではないな、誘導された。よく見ると、道順の➡矢印が用意されている。要するに地図を見ていない3人。思い込みで動き、違うかもと疑うことをしない・・・いや、する必要がないと、端から思っている。この三人の家族はまったく知らない土地で方向音痴が地図頼りに目的地に行けると思っていない。「そんなことないよ～3人いるんだから大丈夫だよ～」と言った言葉は最初の一步で打ち砕かれ、その後は➡を目掛け歩きました。途中、➡の両側に道があり、「どっちに行くんだ！」と3人。まあこっちだろうと、感で動く。どっちにしても出るところは一緒でした。巡る先の小室山公園を散策、きれいに整備された色鮮やかなつつじに感動し、リフトに乗り山頂へ、眺めのいい景色にまたまた感動。もしや迷うかもと、🎒持参だったので、外で美味しいねえ～とランチをし。気持ちよく「さわやかウォーキング」をしてきました。珍道中の中身は満載で、ここでは書き足りない。地図をよめる人にはわからない楽しさと怖さがあります。もう一度いや二度、参加したら完璧に遂行できるだろう。「いや！ムリだ、そもそも三人とも地図見てないだろう！最初の躓き、横断歩道右、横断歩道渡って右側を歩くとあるだろう」。と隣で声がする。「あれ？」物語があつていいじゃないか。物語？

ねがみ

## アスパラガス



ベランダのプランターに植えてあるアスパラガスが採れ始めました。採れたてのアスパラガスは甘みが強く美味しい。ギリシャ語で「新芽」を意味するアスパラガス。原産地のヨーロッパでは紀元前から栽培され、日本には江戸時代に観賞用として伝わり、明治時代に食用として導入、大正時代から本格的に栽培されるようになりました。独特の甘みと歯応えを持ったグリーンアスパラガス以外に、缶詰で広く流通しているホワイトアスパラガスもありますが、実は栽培方法が違うだけでどちらも同じ品種です。「根株」とよばれる地下茎を植え付け、株を太らせ出てきた若い芽を収穫。1度植え付ければ10年ほどは収穫できるライフサイクルの長い野菜です。春になると、土の中から3日に1本くらいのペースで芽が出てくるので、20～30cmくらいの高さになったら随時収穫していきます。ただし、その芽をすべて採りつくしてしまうと、次の年のための株が残らなくなってしまうので、3週間ほど収穫を楽しんだら、あとは残して、大きく成長させます。去年は収穫を控え夏の間十分光合成が出来た為か今年が良い太さの物が収穫出来ています。あと何回か収穫を楽しみたいです。

祥子